

## お知らせ・ご注意

### クマによる事故、野生動物にご注意ください

自然の豊かな長野県の山にはツキノワグマが生息しているのが当然だということを忘れずに、山やMTBコースに入るときは十分に気を付けてください。

#### 【クマの生態】

山岳地域はクマや野生動物の生息域です。

雑食性で季節によって食べる物が変化します。

基本的に臆病な性格をしていると考えられていますが、危険を感じると身を守るために攻撃的になることがあります。

夏は、山の中でクマの食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、農作物へ被害を与えることがあります。人身被害のリスクも高まります。

自分自身の身を守るために県や富士見町のホームページの確認もお願いします

○長野県 HP

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>

○富士見町 HP

<https://www.town.fujimi.lg.jp/page/kuma.html>

#### 【クマと遭遇しないために】

クマとのバツタリ遭遇が一番危険です。まずはクマに人の存在を知らせましょう。

##### ■クマ鈴、ラジオ、笛などを携行する

クマは嗅覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避ける行動をとります。クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら行動しましょう。



### ■クマのいる場所に近づかない

山に入る場合は、いつどこで遭遇してもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

間伐された枯れ木や、倒木、腐木の下のアリの巣などにもクマはやってきます。



### ■クマに遭遇してしまったときは

クマ対策の基本は「クマに遭わない」ことです。

万が一遭遇してしまったときは、クマも驚き、興奮します。

クマから目を離さず、刺激しないようにゆっくりとその場を離れてください。

クマには、背を向けて走って逃げるものを追いかける習性があります。

### ■クマを寄せ付けないうために ※駐車場ご利用も含む

食料・ゴミ・残飯は外へ放置しない。

一度餌付いてしまうとその場所を執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身被害に繋がる可能性が高まります。

### ■子グマにもご注意ください

この時期には、親からはぐれてしまった子グマが、山で食べ物をうまくとれずに、集落のほうへ降りてきてしまうことがあります。

このような子グマは、昼間でも集落近くに現れ、目撃されることが多くなりますが、直ちに人に危害を加えることはあまりありません。そのままそっと立ち去りましょう。

親グマと一緒に子グマに出くわしたときは、子グマを守るために親グマが人を攻撃する場合があります。すぐにその場を離れましょう。